

(第三種郵便物認可)

は、一般社団法人網走建設業協会と共催で実施。北見分会と網走建設協などから十一人と、北見労基署の萩原進署長が参加し



注意点等の理解深める

労務費調査帯広地方連絡協

説明会開催し200人参加



ち館で二十七年
度公共事業労務
費調査（十月調
査）に関する説
明会を開催した
。写真。建設
業者などの関係
者約二百人が出
席。参加者は、
労務費調査の際
の注意点などに
ついて理解を深めていた。

【帯広発】開発局、道、札幌市で構成する公共事業労務費調査北海道地方連絡協議会帯広地方連絡協議会は十六日、帯広市内のとか

【室蘭発】胆振東部農業開発事業所工事安全連絡協議会（幌村司会長）は十五日、厚真町福祉センターで二十七年安全大会を開催した。写真。協議会の会員ら約八十人が参加。安全講話などを通じて意識の高揚を図り、無事故・無災害の達成に向けて尽力していく

の指導員が二現場を巡回し、工事進捗と安全確保の現場でのさらなる安全管理体制の向上を呼びかけた。写真。パトロールには、同分会の上田正則指導員、手塚純一指導員のほか、浦河労基

地災害総合減災対策治山の現場では、現場代理人から工事概要や作業状況のほか、騒音測定、家屋調査を実施し、第三者災害の防止に取り組んでいることなど、安全管理状況について説明を受けたあと現場を視

今金町の現場二カ所を巡回。「墜落および重機災害の防止に努めて」と呼びかけ、追い込み期における労働災害防止の徹底を求めた。函館労基署江差駐在事務所の小山治彦所長が協力。

安全指導者の前田憲男氏、小林誠二氏、成澤隆夫氏、山田仙治氏、事務局長の工藤篤氏が参加した。せたな町内の「大成総合支所改修建築主体」（城ヶ端建設㈱施工）と今金町内

長は「追い込み期労働災害防止運動」の期間中なので、ちょっとした異変でも機械を止め、重機災害の防止に努めて」と呼びかけた。

にふれ、「今回の調査に市場を反映させたい。記入漏れや無効とならないよう、調査に協力いただきたい」と呼びかけた。

続いて、帯広開発技術管理課の斉藤政憲技術管理専門官が「公共事業労務費調査における個人情報取扱いについて」、道建設部建設

管理課の鈴木克哉技術管理グループ主査と一般社団法人経済調査会道支部の矢地周平氏が「公共事業労務費調査の調査内容、調査票の

記入方法」などについて説明した。出席者は、調査の際の注意点や重要なポイントについて、メモを取るなどして理解を深めていた。

紹介した。このあと、こぶし建設㈱総務部参与の天野正輝氏が「交通事故防止について」と題し、㈲ケイアンドエイの米口晶三氏が「現場の安全」と題して講演した。最後に、札幌工務事務所の前田友行氏が「新たな決意のもと、労働災害・交通事故の絶滅に努め、無事故・無災害を目標にさらにまい進することをここに誓う」と題して、道内建設業の労働発生状況、労災防止対策の重点実施事項、二十六年監督結果を踏まえた注意すべき安全対策などを

北央道路工業が秋の安全衛生大会

安全意識のもち方が重要

140人が無災害達成誓う

【岩見沢発】北央道路工業㈱札幌、滝口二郎社長

は十七日、岩見沢市内の栗沢市民センターで二十七年秋の安全衛生大会を開催した。約百四十人が参加。滝口社長は各自が一層、安全意識の高揚を図るよう呼びかけた。また、講演、大会決議宣言で労働災害、交通事故の絶滅に努めることを誓い合った。

はじめに、滝口社長が挨拶し、春の安全誓いについて、苫小牧労基署の河合博文次長は道内・管内の労災発生状況を説明。事故の発生状況や冬期運転の注意事項などを解説した。

最後に、幌村建設㈱の海馬洋文氏が決意宣言。参加者は無事故・無災害の



苫小牧警察署交通第一課の村田典繁企画係長は、交通事故の発生状況や冬期運転の注意事項などを解説した。

tp://www.niseko-tr.co.jp

廃棄物、建設廃棄物、アスベストなど
廃棄物の収集運搬、処分をいたします。

一般区域貨物運送事業
土木、造園、舗装、解体、建設工
事

ISO9001 ISO14001 認証取得

ニセコ運輸有限会社

36-22-0745 虻田郡倶知安町字峠下